



## 学年末まであと1か月

「三寒四温」という言葉が聞かれる時期になりました。本校の第42回卒業式(3/17)まで1か月を切り、6年生にとっては、6年間の小学校生活のカウントダウンが始まっています。また、今年度最後の授業参観が行われている中、保護者の方々へ学年合唱等を披露している学年もあります。これまでも、音楽の授業等でクラスの合唱の歌声は校舎内に響いていましたが、体育館で学年の児童が心をひとつにして合唱している歌声を聴いていると、感慨深いものがあります。

また、先日に行われた新入学児童保護者説明会では、多くの保護者の方々にご参集いただき、4月から市内小中学校で最も多い児童生徒数になる本校の学校教育活動に向けて、気を引き締めなければならないと改めて感じています。

このたび、文部科学省から、卒業式の教育的意義を考慮した「卒業式におけるマスクの取扱い等」とともに、4月1日以降の新学期におけるマスクの着用の考え方について、「学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」等の基本的な方針が示されました。状況は確実に変わりつつあります。マスクの着用については、個人の主体的な選択を尊重しながら、本来の学校教育ならではの有意義な活動の再開に期待しているところです。

校長 和田修二



## よよいよ授業づくりに向けて

1月27日(金)の午後、本校において、今求められている授業「主体的・対話的で深い学び」に向けて、授業改善を図ることを目的に、研究会を実施しました。講師として招聘したのは、文部科学省視学委員の國學院大學 田村 学 教授です。3年2組(柳樂級)と6年3組(梅村級)に授業を公開していただき、「設定したゴールイメージと実際の子どもたちの姿が重なっているか」というテーマで研究協議を行いました。田村教授からは、教師が「何を教えるか」「どう教えるか」ではなく、子どもたちが「何を学ぶか」「どう学ぶか」という視点もつことで、授業はよりよく改善されていくと助言を受け、今後の授業づくりに大いに参考となる研究会になりました。先生たちは、よよいよ授業づくりに向けて、研修に励んでいます。





## 学校の出来事をピックアップして紹介します！



### ◆ 橋の名前は「郷ノ泉橋」

上郷・下今泉地区の鳩川に完成する新しい橋の名前が「郷ノ泉橋（さとのいずみばし）」に決定しました。本校の6年生の本田アオトさんが、「上郷と下今泉をつないでほしい」という意味を含めて応募した名前です。1月30日のオンライン朝会で、内野海老名市長と伊藤教育長がサプライズで登場して、橋名板のミニチュアを本田さんに贈呈しました。

### ◆ インクル掲示板

南棟1階 PTA ルームの廊下に「インクル掲示板」を設置しました。その掲示板には、こう書かれています。

#### 「インクルーシブ」って何？

「インクルーシブ」とは、「すべてを包み込む」という意味です。誰ひとり同じ人はいません。それぞれの個性や価値観が認められ、みんなが大切にされるということです。

学校生活で見られる「インクルーシブ」な活動を掲示して、校内にインクルーシブの機運を高めていきます。



### ◆ わくわくエコスクール

5年生を対象に、自動車産業の企業（日産）を本校に招いて、「わくわくエコスクール」の出前授業を実施しました。子どもたちの環境意識を高めるために、地球環境問題と自動車産業の環境技術の取り組みを伝えていただきました。実際に、電気自動車の車両見学もさせていただきました。

## 3月の主な学校行事



詳しくは学年だよりをご覧ください。状況により予定が変更になることがあります。



日	曜	行 事
8	水	6年生を送る会
16	木	給食終了 卒業式前日準備
17	金	第42回卒業式 1～5年自宅学習
24	金	修了式 離任式

### ■ 児童数（支援級含む：令和5年2月16日現在）

1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		合計		新1年生 入学予定者	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計			
88	93	77	78	62	71	72	61	58	76	63	53	420	432		852